

均等・両立推進企業表彰 均等推進企業部門 東京労働局長優良賞

富士電機株式会社

所在地:品川区、業種:製造業、従業員数:約9,500人

『現場の意見』『コミュニケーション』で、女性の活躍を推進

現状把握から始めたポジティブ・アクション。女性社員・管理職が少ないこと、家事・育児による退職者が相当数いること、管理職と社員の認識のギャップが大きいこと等の現状を丁寧に拾い上げ、さまざまな取組を実施した。取組のポイントは、「現場の意見反映」、「上司と部下のコミュニケーション改善」。コミュニケーション改善に力をいれたことにより、社内の女性活躍・両立支援の意識が醸成されてきており、今後さらなる女性の活躍推進が期待される。

1 ポジティブ・アクション取組体制

◇ 「女性活躍推進」の専門組織、その下にキャリア支援、両立支援、管理者教育・アンケート調査のワーキングチームを設置し、取組を実施。トップダウンで展開する一方、ワーキングチームでは、性別・職種・格付け等多様なメンバーを現場から選出し、現場の意見の反映を図った。当初の取組が一定程度進んだことから、専門組織を発展的に解消し、人事部門全体で、ダイバーシティ推進担当を中心に取り組んでいる。ワーキングチームの活動は継続している。

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇ 現状把握のため、全女性社員・全管理職を含むグループ社員に対し、女性活躍に関するアンケート調査や社員への個別ヒアリングを実施。
- ◇ 女性の企画職増加・職域拡大の取組として、数値目標の設定、女子学生対象の職場見学会、活躍している女性の紹介、自己申告制度「やりたい仕事調査」など。
- ◇ 女性管理職増加の取組として、数値目標の設定、管理職養成研修、キャリアデザイン研修、メンター制度、ロールモデルの紹介など。
- ◇ 管理職の意識改革、上司と部下のコミュニケーション改善、女性の能力開発・意欲醸成を図る取組として、管理職の意識改革研修、オリジナルのe-ラーニング、女性社員研修における上司との面談、上司と部下のコミュニケーション研修、女性社員に対する「キャリアデザイン研修」、育児休職者支援など。

3 ポジティブ・アクション取組成果

- ◇ 平成20年から平成22年において、企画職の女性割合が、3.4%→5.2%、管理職の女性割合が係長クラス1.7%→2.0%、課長クラスで0.2%→0.4%と着実に増加。
- ◇ 女性の退職者のうち結婚・出産を理由とする者が、平成18年以前の22%から8%に激減。